

## 「善波川沿い矢倉沢往還をたどる歴史さんぽ」のお誘い

**日時** 平成20年11月23日(日) 午前10時～午後3時 (小雨決行)  
(当日荒天の場合は、11月30日(日)を予定しています。)

**集合時間** 午前10時(時間厳守)  
**場所** 集合場所 小田急小田原線 鶴巻温泉駅北口 改札前  
(同駅北口 神奈中バス「伊勢原駅北口」行き午前10時10分発 乗車予定)

**コース** 大住団地西側広場 → 埋もれ木(神代杉) → 導水トンネル → 夜泣き石 → 三嶋(みしま)神社 → 勝興寺(しょうこうじ)で昼食休憩 → みかん園でみかん刈り → 「坪ノ内」バス停 (歩行距離 約 3.5～4 km)

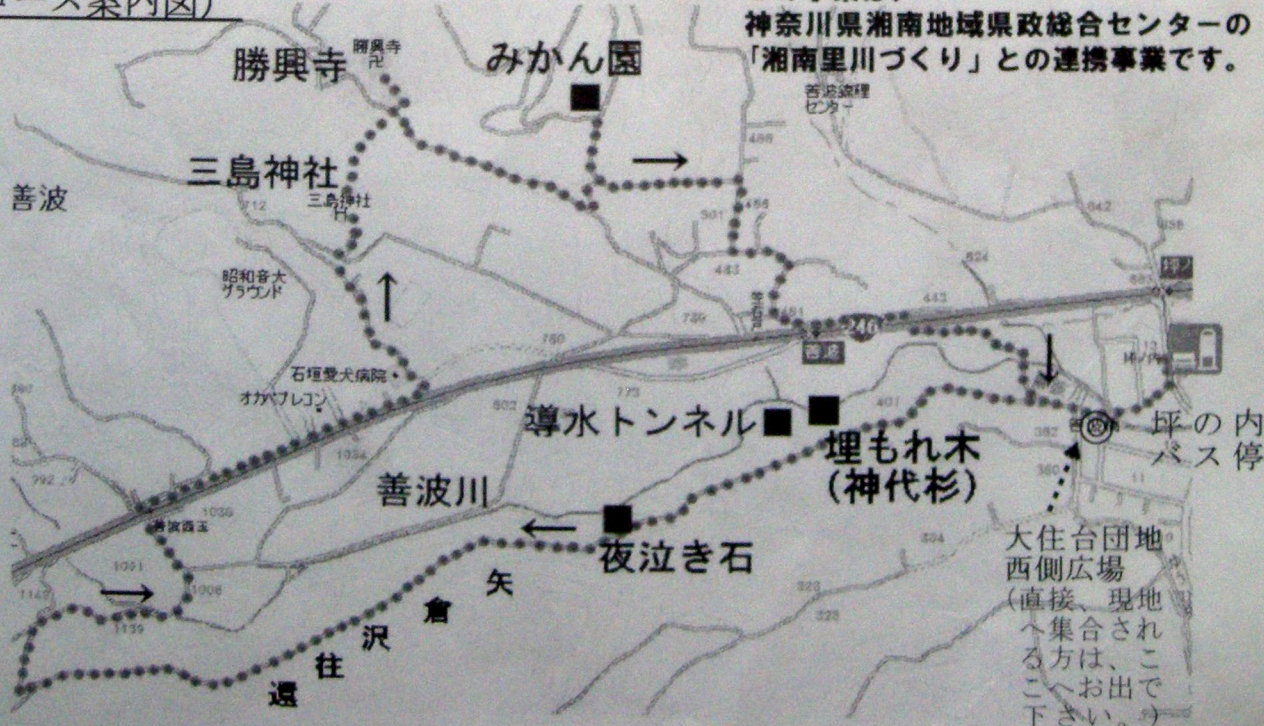
**持ち物** 昼食、水筒、状況に応じ雨具や防寒具、みかん園入園料(350円)をご用意ください。

### (コースの概要)

- 今回訪れる矢倉沢往還(やぐらざわおうかん)は、奈良時代に開かれ、箱根越えの東海道の官道の役割をしていました。江戸時代には、伊豆・沼津から足柄・秦野・伊勢原等を経て、江戸まで物資を運ぶ街道として、また、大山詣での人々が利用する「大山みち」として賑わった古道です。
- 現在は周辺が開発されていますが、道沿いには数多くの史跡が残っており、この地で活躍した善波氏の善波太郎に因んだ「太郎の郷づくり協議会」は、史跡や景観の保全に地域で取り組んでいます。
- 今回、協議会代表の飯塚文平氏による講話があります。  
なお、地元農家でのみかん狩り体験も用意していますので、お子様から大人までどなたでも楽しめる「歴史さんぽ」です。

### (コース案内図)

この事業は、  
神奈川県湘南地域県政総合センターの  
「湘南里川づくり」との連携事業です。



(担当) 柳川三郎 (Tel. 0463-59-2000) または  
湘南地域県政総合センター企画調整課 (Tel. 0463-22-2711)

—— 金目小学校気象クラブ1977年の記録から ——

今から30年ほど前、金目小学校には気象クラブがあった。百葉箱の脇のポールに天気予報旗を揚げるのを日課としていたほか、毎週のクラブの時間にも活発に活動していた。

そうした活動の一つとして、金目川の水量を測ったことがある。

実施したのは、1977年5月16日(月)の6校時、クラブ活動の時間で、場所は通学橋下流の無線ロボット水位観測局付近だった。

参加したのは、気象クラブ員13名(6年10名、5年3名)と担当教員2名。

調査開始時刻14時40分の天気は快晴で、北東の風、風力2、気温23.0度、水温21.5度。

(1) 流れの断面積を測る

流れに対して垂直にロープを張り渡す。

流れの幅は約25m。ロープにつけた1mおきの目盛りのところで深さを測る。

北側から22mまでは10cmから23cmで、平均すると15cmになる。(右図参照)

南側の3mは深くなり、いちばん深いところで140cm。

測定結果から、流れの断面を縦0.15m、横22mの長方形と、底辺3m、高さ1.4mの三角形として計算した。

$$0.15 \times 22 + 3 \times 1.4 \div 2 = 5.4 \text{ (m}^2\text{)}$$

(2) 流れの速さを測る

次に、木切れが10m流れるのにかかる時間を計り、平均すると約47秒だった。

これをもとに、1秒間に0.21m、1分間では12.8m、1時間では766m、

1日では18km流れると推計した。

(3) 流れる水の量

(流れる水の量) =

(流れの断面積) × (流れの速さ)

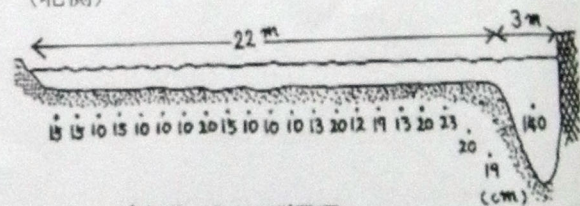
として、1秒間で約1.1m<sup>3</sup>、1分間では約69m<sup>3</sup>、1時間では約4,100m<sup>3</sup>、1日では97,000m<sup>3</sup>と推計した。

30年たって振り返ってみると、精度はあまり高くはないだろうが、小学校高学年の活動としては評価できるものと自負している。

(この原稿は、平成20年6月14日にいただいたものです。)



(北側)



第2図 流れの断面図

平均の深さ

$$(15 + 15 + 10 + 15 + 10 + 10 + 10 + 20 + 15 + 10 + 10 + 10 + 13 + 20 + 12 + 17 + 13 + 20 + 23 + 20 + 19) \div 21 = 15$$

15cm → 0.15m



(金目川での調査風景—記事とは直接関係ありません)

○ご意見、ご感想、地域情報、入会希望などがございましたら下記までお寄せ下さい。

事務局 〒259-1201 平塚市南金目722-2 事務局へのご連絡は、下記あてをお願いします。

柳川 三郎 Tel&Fax 04632(59)2000 E-mail sm-y@dab.hi-ho.ne.jp

(毎月第2土曜日の午後1時30分より例会を開催しています。是非ご参加下さい。)

参加自由 開催場所 事務局会議室 (東海大学 J館406室)